

Lesson 3. Eating Up the Sea?

Part 1 | What is about to start now and where is it?

Just before dawn, about 20 buyers from all over the world enter the United Fishing Agency warehouse in Honolulu, Hawaii.

単語) dawn 「夜明け」 ※発音注意 /dɔ:n/ 「ドーン」

warehouse 「倉庫、問屋」

訳) 夜明け直前に、世界中から来た約 20 人の買い付け人たちがハワイのホノルルにある UFA の倉庫に入ります。

They all wear winter jackets over their aloha shirts to ease the chill of the refrigerator.

単語) chill 「寒さ、冷たさ」

refrigerator 「冷蔵庫」 ※ふつう 「fridge」と省略して言います。

訳) 彼ら全員は冷蔵庫の寒さを和らげるためにアロハシャツの上に冬用のジャケットを着ます。

They get their cell phones ready to deal their customers in Tokyo, Los Angeles and Toronto.

単語) deal 「売買する」 (38)

訳) 彼らは東京、ロサンゼルス、トロントの顧客と売買するために携帯電話を準備します。

The fishing ships are unloaded in order of arrival at the pier.

単語) unload 「～を下ろす、～の荷を降ろす」 (707)

pier 「埠頭、桟橋」

熟語) in order of A 「A の順番で」

訳) 漁船は埠頭に到着する順番に荷を降ろされます。

Fish are weighed, tagged with the name of the ship, set of on pallets, and kept clean and cold.

単語) weigh 「重さを量る」 ※発音注意/weɪ/ (gh は黙字。way と同音)

tag 「名札をつける」

pallet 「パレット（フォークリフト用の荷台）」

訳) 魚は重さを量られ、船の名前の名札をつけられ、パレットに置かれ、清潔で冷たい状態に保たれます。

Everything is ready and the big doors of the warehouse are to open soon.

文法) be to 不定詞

「be 動詞 + to 不定詞」の形で、「予定」、「義務・命令」、「運命」、「可能」、「意図」の意味を表す。

「be to」は 1 つの助動詞と考えることもできます。やや改まった言い方です。ここでは文末に「soon」があるので「be to = will」と想像できます。

文法) every と each は单数扱い 説明省略

訳) 全ての準備が整っており、倉庫の大きな扉がまもなく開くでしょう。

Yes! A famous seafood auction is about to start now.

熟語) be about to do 「今にも～しようとしている」 (21)

訳) そう！有名な海産食品のオークションが今にも始まろうとしているところです。

Once the auction starts, people take samples from the fish and lay out ribbons of flesh.

単語) once 「いったん～すると」

flesh 「肉、果肉」 ※ fresh 「新しい、新鮮な」 fresher (1年生)、 sophomore (2年生)、 junior (3年生)、 senior (4年生)

熟語) lay out 「並べる、設計する」 (208) ※他動詞と自動詞で形が異なる動詞 後述

訳) いったんオークションが始まると、人々は魚からサンプルを取り、肉片を並べます。

Buyers finger the sample, trying to judge the quality from the color, texture and fat content.

文法) 分詞構文 説明省略

単語) finger 「指で触れる」 the thumb (親指) the index(first) finger (人差し指) the middle(second) finger (中指)

the ring(third) finger (薬指) the little(fourth) finger, pinkie (小指)

quality 「質、品質」 (44)

texture 「感触、食感」

fat 「脂肪」

content 「含有量、中身、内容」 (150)

訳) 買い手は、色、感触及び脂肪量から品質を判断しようと、サンプルを指で触れてみます。

As orders come from home over the cell phones, bids are sent to the auctioneer with mysterious hand gestures.

単語) bid 「入札」

auctioneer 「競売人」

訳) 注文が携帯電話で家から入ると、入札が不思議な手振りで競売人に送られます。

Little sheets of paper with unreadable handwriting are put on a fish's side when a sale is finalized.

単語) finalize 「最終決定する、決着をつける」

訳) セリが終わると、手書きで読めない小さな紙が魚の側に置かれます。

One by one the fish are auctioned and sold to the highest bidder to be shopped to wealthy customers.

単語) wealthy 「裕福な、富貴な」 (269)

熟語) one by one 「1つずつ、1人ずつ」 (402)

訳) 一匹一匹魚がオークションにかけられ、裕福な顧客に買ってもらうために最高入札者に売られます。

The United Fishing Agency started its auction on August 5, 1952, based on that of Tsukiji in Tokyo.

文法) 他動詞の目的語を明確にする The United Fishing Agency started its auction on August 5, 1952,...

「auction」の前に所有格の「its」を置くことで、ここの「auction」が「The United Fishing Agency」のものであることを明確にしています。

文法) 名詞の繰り返しを避ける that と those

前に出た名詞を繰り返しを避けるために that や those で受けます。

ここでは後半の「based on that of Tsukiji in Tokyo.」は前の「auction」を受けています。

訳) UFA は、東京の築地市場のオークションを基本とした自分たちのオークションを 1952 年 8 月 5 日に始めました。

Every day, the remarkable auction attracts many fish buyers, but, in fact, there is a serious problem behind this prosperous scene.

単語) remarkable 「注目すべき、驚くべき」 (619)

attract 「引きつける、呼び寄せる、誘導する」 (225)

prosperous 「繁栄している、成功した、裕福な」

熟語) in fact 「実際に、実際は、つまり」 (81)

訳) 毎日注目すべきオークションが多くの買い手を引きつけています。しかし、実際は、この繁栄している場面の背景には深刻な問題があります。

他動詞と自動詞で形が異なる動詞

	原形		過去形	過去分詞形	ing
自動詞	lie	横たわる	lay	lain	lying
他動詞	lay	横たえる	laid	laid	laying

Part 2 | What is the world catch and what can we say about it?

Every year nearly 80 million tons of wild fish and shellfish are caught in the world's oceans.

単語) shellfish 「貝、甲殻類」 ※ jellyfish 「クラゲ」 [She sells seashell by the sea shore. 発音注意/s/と/j/]

訳) 毎年約 8,000 万トンの野生の魚介類が世界の海で獲られています。

The fishing industry calls this huge quantity of mass-hunting the world catch.

文法) 第 5 文型「S + V + O + C」

The fishing industry calls this huge quantity of mass-hunting the world catch.

単語) industry 「産業、業界」 (62)

huge 「巨大な、莫大な」

quantity 「量」 (464) ⇔ quality 「質」 (44)

mass 「大量の、多くの、大部分、大多数」 (267)

訳) 漁業界はこの莫大な量の大量捕獲を世界の漁獲量と呼んでいます。

Many people say that the size of this harvest has been relatively stable over the past decade.

単語) harvest 「収穫、漁獲高」 (462) ※ harvest moon 「中秋の名月」

relatively 「比較的、相対的に」 (387)

stable 「安定した、動じない」 (879)

past 「過去」 ※ past tense 「過去時制」 past particle 「過去分詞」

decade 「10 年間」

訳) 多くの人々はこの収穫量は過去 10 年間で比較的安定していると言います。

However, the world catch is neither stable nor fairly divided among the nations of the world.

文法) neither A nor B 「A でも B でもない」という意味で、両者を否定するときに用います。

※ 発音注意 neither /nɪðər, ná-/ 「ニーザー」 「ナイザー」

単語) fairly 「まあまあ、結構、公正に、公平に、すっかり、全く」

divide 「分ける、隔てる、割る」 (235) ※ Sixteen divided by two is eight. (16 ÷ 2 = 8)

訳) しかし、世界の漁獲量は安定しておらず世界の国々の間でも公平に分配されていません。

According to estimates by the Food and Agriculture Organization of the United Nations, 53 percent of fishery stocks were fully exploited in 2008.

単語) estimate 「見積もり、概算」

fishery 「漁業、水産業」

stock 「蓄え、備蓄、株」

fully 「完全に、すっかり」

exploit 「不当に利用する、搾取する、利用する」

熟語) according to A 「A によると」

訳) 国連食糧農業機関の見積もりによると、漁業備蓄量の 53 パーセントが 2008 年には完全に不当に利用されました。

This means that the current world catch is at or close to the maximum level of sustainable production.

文法) SVC の構文

主語 動詞 補語
This means that the current world catch is at or close to the maximum level of sustainable production.

This = that current world catch is at or close to the maximum level of sustainable production.

補語内の構造

接続詞 主語 動詞 補語
that current world catch is at or close to the maximum level of sustainable production.

文法) 等位接続詞 「or」 A or B 「A か B か」

A = at the maximum level

B = close to the maximum level

最大レベルをここでは「10」とします。すると、「A = 10, B = 8 or 9」ということを表しています。

単語) mean 「～ということを意味する、～を表す」

current 「現在の、最新の、流れ、海流、潮流」

maximum 「最大限の、最高の、最大の」

sustainable 「持続可能な」

訳) これは現在の世界の漁獲量が持続可能な生産の最大のレベルかそれに近いことを意味しています。

In the 1950s, a much smaller part of the oceans was sufficient to meet our needs.

単語) sufficient 「十分な、足りる」

meet 「(条件などを) 満たす」

訳) 1950 年代には、現在よりもより狭い範囲の海で我々の要求を満たすのに十分でした。

But as rich nations demanded increasingly large and expensive fish, they exceeded the production capacities of their own economic zones.

単語) demand 「要求する、請求する」 (36)

increasingly 「ますます、いよいよ」 (22)

exceed 「超える、上回る」

capacity 「容量、定員、能力」

訳) しかし豊かな国が大型で高価な魚をますます要求したので、彼らは自分たちの国の経済圏の生産能力を超えてしまいました。

As a result, more and more of the high seas had to be fished to keep supplies growing or even constant.

文法) 比較級 and 比較級 比較級を and を使って繰り返すと、「ますます・・・」という意味になり、程度が次第に増していくことを表します。

文法) keep + O + 分詞

keep は SVOC の文型で用いられ、「O を C の状態にしておく」という意味を表します。SVOC の場合は、「O = C」の関係が成り立ちます。ここでは「supplies = growing or even constant」ということです。分詞が現在分詞の場合は能動の意味を、過去分詞の場合は受動の意味を表すことも注意しましょう。

単語) supply(n) 「供給、供給量、生活物資、生活用品」 ※ (v) 「供給する、提供する」

constant 「絶え間ない、一定の」

熟語) as a result 「結果として」 (148)

the high sea 「公海、外洋」

訳) 結果として、ますます多くの公海で、供給を伸ばし続けるまたは一定に保ち続けるために漁が行わなければなりませんでした。

Technically, the high seas are owned by nobody and everybody, and it is because of this free accessibility that their stocks are exploited easily and often illegally.

文法) 強調構文

強調したい語句を It is [] that …の[]の位置に入れて表すことを「強調構文」といいます。[]に入るには、主語・目的語・補語になっている名詞や代名詞、または副詞の働きをする語句です。詳細を後述します。

ここでは「because of this free accessibility」が強調したい語句になっています。公海は誰でも自由にアクセスできることが返って違法操業を許してしまっているということを強調したいということです。

単語) technically 「専門的に言うと、厳密に言うと」

accessibility 「接近すること、手が届くこと」 (167)

illegally 「違法の、不法の」 (394) ⇔ legal 「法律の、合法の」

訳) 専門的に言うと、公海は誰のものでもなく、みんなのものです。それらの貯蔵（公海での漁）が簡単にそしてしばしば違法利用されるのは、公海は自由にアクセスできるからです。

Indeed, the catch from high-sea areas has risen to nearly ten times what it was in 1950.

文法) 関係代名詞 what

「～すること（もの）／～であるところのもの」という意味で、先行詞なしで使います。「what」の導く節は名詞節で、文全体の主語や目的語、補語になります。また「it」は「the catch from high-sea areas」の代名詞であることを必ず押さえてください。「what it was in 1950.」は「それが 1950 年にはそうであったところのもの」という意味です。そこから以下のように訳しました。

単語) indeed 「確かに、実際は、事実は」

nearly 「ほとんど、だいたい」

訳) 実際に、公海での漁獲量は 1950 年の漁獲量よりだいたい 10 倍上がっています。

Nowadays, the ocean has far too few fish left to support the current world catch.

文法) 準否定語「few」

「少ない」を表す形容詞には「few」と「little」があります。「few」は数が少ないと表し、可算名詞の前に置きます。「little」は量が少ないと表し、不可算名詞の前に置きます。「a few」、「a little」のように「a」がつくと否定の意味が消えて、「少しはある」、「少数の」という肯定的な意味になります。このように、「a」があるといふとでは意味がほぼ反対の意味になってしまいます。注意して下さい。

他の準否定語

① hardly/scarcely 「程度がほとんどない」

(1) I could hardly understand what he was saying.

(私は彼の言っていることをほとんど理解できなかった。)

(2) The injured child could scarcely walk.

(けがをしたその子供は、ほとんど歩けなかった。)

② rarely/seldom 「頻度がほとんどない」

(1) I rarely listen to classical music.

(私はめったにクラシック音楽を聴きません。)

(2) England has seldom won the World Cup.

(イングランドがワールドカップで優勝したことはめったにない。)

単語) nowadays 「このごろ、近ごろ、最近」 (395)

far 「はるかに、ずっと」

訳) 今日では、現在の世界の漁獲量を支えるのに残されている魚の量はあまりにも少なすぎます。

強調構文

次の文の各数字の部分を強調すると、4種類の文ができます。

John saw a black bear in the forest yesterday.

- ① It was John that (who) saw a black bear in the forest yesterday.
- ② It was a black bear that John saw in the forest yesterday.
- ③ It was in the forest that John saw a black bear yesterday.
- ④ It was yesterday that John saw a black bear in the forest.

※強調する語が人の場合には、that の代わりに who を使っても良い。

※接続詞 that は省略される場合がある。

※この問題が入試によく出題される理由は、「強調構文と形式主語の構文を見分けられるか？」ということです。見分け方について説明します。

1. It is [形容詞] that…の形になっている場合

強調構文で形容詞を強調することは出来ないので、この形になつていれば形式主語です。

例文) It is important that you understand this. (あなたはこのことを理解することが重要です。)

2. It is [副詞 (句・節)] that…の形になっている場合

形式主語の文であれば、It is … that ~の…の部分は be 動詞の補語として働いているはずです。場所や時間、理由などを表す副詞 (句・節) は補語になることはありえないでの、It is [場所・時間・理由などを表す副詞 (句・節)] that ~という形になつていれば強調構文です。

例文) It is in August that the festival is held. (そのお祭りが開かれるのは 8 月です。)

3. It is [名詞 (句・節)] that…の形になっている場合

強調構文であれば、that 以下の文から強調されている名詞が that の前に移動しているので、that 以下の文は名詞が 1 つ足りない形になっています。

例文) It is this hospital that he visits every Monday.

(彼が毎週月曜日に訪れるのは、この病院です。) ← “visit”の目的語が前に出ている。

一方、形式主語の文であれば、that 節が真の主語、すなわち名詞節なので、that 以下は必ず文として完全な形式を備えている。

例文) It is a mystery that the ring disappeared from this safe. (この金庫からその指輪が消えてしまったのは不思議である。)

Part 3 | Why did the custom of eating raw fish begin to spread throughout the world?

Different fish have different impacts upon ocean stocks depending on their marine food chain.

熟語) depend on 「～次第である、～に頼る」 ※ It (That) depends. 「時と場合による、状況次第」 解答をさける表現。

訳) 異なる魚が海洋植物連鎖によって漁獲量に異なる影響を与えます。

For example, a single thousand-pound tuna might represent as many as 15,000 smaller fish.

文法) 助動詞 might 「推量」を表す意味です。「～かもしれない」と訳します。

単語) pound 「ポンド（約 454 グラム）、イギリスの通貨単位」 ※発音注意/paʊnd/ 「パウンド」
represent 「～に相当する」 (120)

訳) 例えば、1000 ポンドのマグロは 15,000 匹の小魚に相当するかもしれません。

Therefore, in order to gain a more accurate picture of how different nations have been using the resources of the sea, we should measure the amount of "primary product" consumed.

文法) 現在完了進行形「have(has) + been + ~ing」

「（今まで）ずっと～し続けている」という動作の継続を表すには、完了形と進行形を組み合わせた現在完了進行形を用います。現在完了進行形は「動作が進行中」ということに注目する表現です。「今もその動作が進行中」であることももちろんあります、「動作が進行中であった」場合にも使われます。つまり、継続していた動作 자체は終わったものの、その動作の「余韻」が今でも色濃く残っている時にも使われます。たいていの場合、動作が終了したのは少し前のことです。

単語) therefore 「従って、それゆえに」 (195)

gain 「得る」 (126)

accurate 「正確な、正しい、的確な」 (483)

measure 「測る、測定する」

primary 「最も重要な、主要な、第一の、初等の」 (497)

consume 「消費する、消耗する、食する」 (308)

熟語) in order to do 「～するために」 (669)

訳) 従って、異なる国々がどのように海の資源を利用しているかをより正確に把握するために、消費される「主要製品」の量を測定しなければなりません。

This is a way of estimating seafood consumption based on the smallest creatures at the bottom of marine food chains.

単語) way 「やり方、方法」

estimate 「見積もる、概算する、推定する」 (205)

creature 「生き物、動物」

訳) これは海の食物連鎖の底辺にいる最小生物に基づいて魚介類の消費量を推定する方法です。

With this method of measurement, China is the largest seafood consumer and Japan comes in second.

文法) with 前置詞「with」は「～と一緒に」という「同伴」を表すのが基本です。また何かとの「関係」や「関連」を表すときにも用いられます。そこからの意味の広がりで「道具」や「材料」「手段」の意味でも使われます。

単語) method 「方法、方式」 (144)

measurement 「測定、測量、寸法」

訳) この測定方式では、中国が最大の魚介類の消費者で、日本は 2 位です。

Fish is a traditional food source in Japan, and Japanese have established a rich seafood culture over many centuries.

単語) source 「源、もと」

establish 「確立する、創立する、築き上げる」 (118)

訳) 魚は日本では伝統的な食糧源で、日本人は何世紀にもわたって豊かな海産物文化を確立しました。

But sushi and sashimi no longer belong only to Japanese people.

熟語) no longer 「もはや～ではない、もう～ではない」 (109)

訳) しかし寿司やさしみはもはや日本人だけのものではありません

Take bluefin tuna, for example.

単語) bluefin tuna 「クロマグロ」

訳) クロマグロを例に考えてみましょう。

Japanese were once the only major raw tuna eaters.

単語) once 「かつて、以前は」

major 「主要な、最大の」 ※発音注意 /mérídʒər/ 「メイジャー」

raw 「生の、未処理の」 (796) ※発音注意 /rɔ:/ 「ロー」

訳) 日本人がかつては唯一最大の生マグロを食べていました。

However, people in the West found fish was a safer source of protein than beef.

単語) protein 「たんぱく質」 (472) ※発音注意 /próoti:n/ 「プロテイン」

訳) しかし、欧米の人々は魚は牛肉よりも安全なタンパク源だということが分かりました。

So, the custom of eating raw fish, including bluefin tune, began to spread throughout the world.

文法) 分詞構文 説明省略

単語) custom 「習慣、慣例、税関」 (273)

throughout 「～のあちらこちらに、～の至る所に、～を通じてずっと」

訳) なので、クロマグロを含め、生魚を食べる習慣は世界の至る所に広がり始めました。

Also, in Asia, the increasing economic prosperity of China, for example, is leading to more consumption of expensive fish like tuna in people's everyday meals.

文法) 余計なものはとりあえず脇に置いてみましょう。

文頭に「Also, in Asia,...」や「for example」が挿入句となっているために、見た目は分かりづらい文章になっていますが、それらを除いて考えてみましょう。つまり、

The increasing economic prosperity of China is leading to more consumption of expensive fish like tuna in people's everyday meals. (Also, in Asia,) (for example)

これに限らず長文読解において分かりづらいなと思ったら、シンプルにできるものはそのようにして読むことを心がけてください。

単語) prosperity 「繁栄、成功」 (943)

訳) 例えば、アジアにおいてもまた、中国の経済的繁栄が進んでいることが、人々の毎日の食事でマグロのような高価な魚をより多く消費することにつながっています。

Such increasing consumption of tuna aroused considerable public concern when an expert ban on Atlantic bluefin tuna was proposed at an international discussion in 2010.

構文確認

<主節>Such increasing consumption of tuna aroused considerable public concern

<従属節>when an expert ban on Atlantic bluefin tuna was proposed at an international discussion in 2010

主節の構造

主語 動詞 目的語
Such increasing consumption of aroused considerable public concern

従属節の構造

接続詞 主語 動詞 (受動態) 副詞
when an expert ban on Atlantic blue was proposed at an international discussion in 2010.

単語) arouse 「引き起こす、招く」

considerable 「かなりの、相当の、重要な」 (4)

public 「大衆の、公の、広く知られた」

concern 「心配、懸念、関心事」 (6)

expert 「専門家」

ban 「禁止、禁止する」 (419)

Atlantic 「大西洋」

propose 「提案する、提出する」 (410)

訳) このようなマグロの消費量の増加は、2010年の国際的な議論で大西洋のクロマグロの専門家による（クロマグロ漁の）禁止が提案された時に、大衆の懸念を引き起こしました。

Although the ban was voted down, the issue still remains the focus of public attention.

単語) although 「～にもかかわらず、～だけれども」

vote 「投票する、票決する」 (476)

issue 「問題、争点、（雑誌などの）号、発行、配布」 (55)

remain 「～のままである、とどまる、残っている」

attention 「注意、関心」

熟語) vote down 「否決する」

訳) その禁止は否決されましたが、問題は依然として世間の注目を集めています。

How can the world's fisheries be managed in a sustainable and successful way?

单語) manage 「管理する、活用する」 (103)

sustainable 「持続可能な」 (701)

successful 「成功した、うまくいった」

訳) 世界の漁業はどのようにして持続可能でうまくいく方法で管理されるのでしょうか?

There are at least two things to bear in mind.

熟語) at least 「少なくとも」 (106)

bear in mind 「心にとどめておく、忘れないでいる」(647)

訳) 少なくとも心にとどめておくべきことが2つあります。

First, it is important to make the seafood crisis more visible to each consumer.

文法) 形式主語 說明省略

文法) each と every 説明省略

文法) make + 目的語(O) + 補語(C) 「O を C にする」

目的語 補語

to make the seafood crisis more visible to each consumer.

单語) crisis 「危機、重大局面」 (349)

visible 「目に見える、明らかな」(788)

訳) 第一に、それぞれの消費者に解散食品の危機をもっと目に見えるようになりますが重要です。

The fish we eat every day comes from oceans far away from the kitchen table, and this distance makes the crisis very difficult to see and feel.

構文確認

主語 The fish 後ろから修飾 **動詞** comes from **副詞**
The fish we eat every day comes from oceans far away from the kitchen table,
等位接続詞 **主語** **動詞** **目的語** **補語** **名詞の用法**
and this distance makes the crisis very difficult to see and feel.

訳) 私たちが毎日食べている魚は食卓から遠く離れた海から来ています。そしてこの距離がこの危機を認識することや感じることを難しくしています。

One way to raise awareness of this is a labeling system for seafood by which consumers can see that it has come from a certified sustainable fishery in a legal manner.

文法) 前置詞 + 關係代名詞

関係代名詞が前置詞の目的語となることがある。

単語) raise 「上げる、向上させる、増やす、意識を高める」

awareness 「知識、自覺、意識」

label(ing) 「表示する、表示」

certify 「保証する、証明する」

熟語) in a manner 「やり方で、方法で」

訳) この件についての認識を高めるための一つの方法は、消費者が魚が法に定められた方法で保証された持続可能な漁場から来たか見ることができる海産物のための表示制度です。

The blue label by the Marine Stewardship Council is a promising example.

単語) promising 「有望な、期待の持てる」

訳) 海洋管理協議会による青いラベルは期待の持てる例です。

Second, international cooperation is indispensable to maintaining rich seafood resources on a global scale.

文法 + 熟語) be indispensable to[for] 「～にとつて不可欠である」 (273)

「to」は前置詞です。従つてその後ろには名詞がきます。下の訳は「～を維持するために不可欠です。」としました。

日本語から見るとここは「不定詞」にしたいところですが、「動名詞」にしなければなりません。これと同じように不定詞と間違えやすい表現を以下にまとめます。

1. be used to doing 「～するのに慣れている」

He is used to making his own breakfast. (彼は自分で朝食を作ることに慣れている。)

2. look forward to doing 「～するのを楽しみに待つ」

I look forward to seeing you again. (また会えるのを楽しみにしています。)

単語) cooperation 「協力、協同」

maintain 「維持する、保つ、続ける」

rich 「豊富な、豊かな」

global 「世界的な、全世界の、地球全体の」

scale 「規模、程度」

訳) 第二に、国際協力は世界的な規模で豊富な海産資源を維持するためには不可欠です。

Since the United Nations Convention on the Law of the Sea came into effect in 1994, member nations have been required to get ready for sea stock conservation.

単語) since 「～なので、～だから」

require 「必要とする、要求する」 (10)

conservation 「自然保護、自然管理、保存」

熟語) come into effect 「(法律・制度などが) 発効する、実施・施行される」

訳) 海洋法に関する国際連合条約が発効したので、加盟国は海洋資源保護の準備をする必要がありました。

As a result, they have adopted quota systems to limit catches of commercial fish.

単語) adopt 「採用する、選ぶ、取り入れる、養子にする」

quota 「割り当て、分担、ノルマ、定員」

limit 「制限する、限定する」

commercial 「商業の、商業的な」

熟語) as a result 「結果として」 (148)

quota system 「輸入規制、定員制度、受け入れ枠制度」

訳) 結果として、加盟国は商業漁業の漁獲量を制限するために漁獲枠制度を採用しました。

International evaluation of these quota systems can help to bring about better stock recoveries and sustainable fishing in the world's oceans.

文法) help は to 不定詞と原形不定詞の両方を伴うことができます。ここでは「to 不定詞」になっています。

単語) evaluation 「評価、判定」

訳) 漁獲枠制度の国際的な評価は世界の海における漁業資源の回復と持続可能な漁業に関して良い結果をもたらすことができます。

Today, as consumers responsible for environmental preservation, each of us should be aware of the fish and shellfish we eat every day.

文法) as の使い方 説明省略

単語) environmental 「環境の」 (47)

熟語) responsible for A 「A に責任がある」 (18)

be aware of A 「A に気がついている、A を知っている」 (17)

訳) 今日では、消費者は環境保全に責任があるので、私たち各々が私たちが毎日食べる魚や貝類について知るべきです。

We should also pay more attention to what is going on in the world's oceans.

熟語) pay attention to A 「A に注意を払う」 (119)

訳) 私たちはまた世界の海で何が置きているのかにもっと注意を払うべきです。

If we lose our fish, we will lose one of our precious shared treasures, for the world's oceans belong equally to all of us.

単語) equally 「同様に、平等に」

訳) 世界の海は私たち全員の共有物なので、もし魚を失うと、私たちは貴重な共有財産の 1 つを失うことになるでしょう。